



第32回
企画展

不朽の名宝

湖東焼



令和2年

9月10日 木 ~ 10月18日 日

10:00 ~ 17:00 (入館は閉館の30分前まで)

展示解説 9月27日(日)・10月11日(日) 10:30 ~ 13:30 ~ 歴史文化博物館 企画展示室

休館日：月・火曜日(※祝日は開館) 9月23日(水)

入館料：一般300円(250円) 小中学生150円(100円)

※()内は20名以上の団体料金

無料入館日：9月19日(土)~22日(火・祝)

後援：NHK大阪放送局

 **びわ湖放送**

朝日新聞大阪総局 京都新聞 産経新聞社 滋賀報知新聞社

中日新聞社 毎日新聞大阪支局 読売新聞大阪支局

左上 / 色絵七福神三つ組盃
左下 / 色絵桃型向付
右上 / 赤絵金彩愛蓮説中皿
右中 / 青磁袖赤絵金彩山水圓蓋置
右下 / 赤絵寝獅子香合

愛荘町立歴史文化博物館

不朽の名宝

湖東焼

焼物が人々の生活に深く浸透した江戸時代、
各種多様な焼物が作られました。
湖東焼は、文政12年(1829)に
彦根城下の商人・絹屋半兵衛と
その仲間によって開窯されました。
天保13年(1842)、経営が厳しかった絹屋の窯は
彦根藩に召し上げられ、
時の藩主・井伊直亮のもとで
新たに藩窯として再始動しました。

そして、井伊直弼の時代に
湖東焼は黄金時代を迎え、
数多くの逸品が誕生しました。
湖東焼の名は揺るぎないものとなりました。
湖東焼には様々な絵付師が関わっており、
彼らが黄金時代の一端を担っていました。
展覧会では、半兵衛、直亮、直弼の三人が
湖東焼にどのように関わったかを、
数々の作品とともに紹介します。



左より
赤絵丸龍紋印籠 / 倣湖東焼金巻経菊花紋盃 / 赤絵金彩赤壁図菓子鉢

ご観覧にあたり、新型コロナウイルス感染予防・拡散防止に伴う、皆様のご理解とご協力をお願いします。

- 発熱・咳込み等の症状がある方は、観覧をお控えください。
- マスクの持参・着用をお願いいたします。
- 手洗い・アルコール消毒にご協力ください。

愛荘町立歴史文化博物館

(金剛輪寺参道隣)

〒529-1202 滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺878番地

TEL.0749(37)4500 FAX.0749(37)4520

<http://www.town.aisho.shiga.jp/hakubutsukan>

アクセス 【電 車】JR稲枝駅、近江鉄道愛知川駅・豊郷駅から予約型乗合タクシー「愛のりタクシーあいしょう」
金剛輪寺停留所下車(詳細は愛荘町ホームページを参照)

※「愛のりタクシーあいしょう」の予約先:近江タクシー(株)彦根営業所 TEL.0749-22-1111

【自動車】名神「湖東三山スマートIC」より1分

